

市場価格

ドル建て ドル/TOZ

Platinum	Price	Date
Open	920.52	2023/02/20
High	964.46	2023/02/23
Low	906.29	2023/02/24
Close	909.40	2023/02/24

円建て 円/グラム

Platinum	Price	Date
Open	3972.00	2023/02/20
High	4169.00	2023/02/23
Low	3963.00	2023/02/20
Close	4005.00	2023/02/24

ドル建て ドル/TOZ

Palladium	Price	Date
Open	1504.40	2023/02/20
High	1541.00	2023/02/20
Low	1366.37	2023/02/24
Close	1407.36	2023/02/24

円建て 円/グラム

Palladium	Price	Date
Open	6480.00	2023/02/20
High	6666.00	2023/02/22
Low	5968.00	2023/02/23
Close	6146.00	2023/02/24

ニュースエクスプレス

ジョンソン・マッセイとBP、フィッシャー・トロプス技術を Louisiana Green Fuels プロジェクトに提供

ジョンソン・マッセイ PLC (JM) と BP PLC (両社ともにロンドン拠点) は、両社が共同開発したフィッシャー・トロプス (FT) CANS 技術が、米 Strategic Biofuels 社による世界で最もカーボンフットプリント量が少ない液体燃料を作るプロジェクトに採用されたと発表した。

この技術は、カーボンネガティブなバイオ燃料を作る世界的大手、Strategic Biofuels社にライセンス提供され、同社のルイジアナ州にある Louisiana Green Fuels(LGF) プロジェクトで、100万トンの樹皮やおがくずの林業廃棄物を、クリーンな再生可能ディーゼルに変換する。操業が始まれば、年間3180万ガロン(約12万m3)のバイオ燃料の生産が可能となる。計画では今後10年から12年の間に、年間1億6500万ガロンの再生可能ディーゼル、持続可能な供給源から製造されるジェット燃料を生産する。

ルイジアナ工場は現在2027年までに操業を開始し、生産のうち87%が再生可能ディーゼル、13%がバイオナフサとなる予定。再生可能ディーゼルは従来のディーゼル燃料のブレンド成分として使うことも、あるいは100%パラフィン系ディーゼル燃料としても使うことができ、バイオナフサはガソリンにブレンドすることができる。

ルイジアナ工場で使われるFT CANS 技術は、BPとジョンソン・マッセイの共同開発により、環境への負荷が少なく生産性に優れている。工場などの排気ガス、大気から直接回収された二酸化炭素、家庭ゴミ、化石燃料を除く再生利用可能な有機資源などから合成されたガスを、再生可能ディーゼルと持続可能な供給源から製造されるジェット燃料の製造に適した炭化水素に転換する。

ジョンソン・マッセイは2022年に合成ガスのバリューチェーンの先端企業となるための戦略を一新し、2030年までに120億ポンドの市場規模を目指すとしている。今回このStrategic Biofuels 社へのライセンス契約はジョンソン・マッセイにとって、大規模プロジェクトの重要なマイルストーンとなる。

<https://www.chemengonline.com/johnson-matthey-and-bp-to-provide-fischer-tropsch-technology-for-louisiana-green-fuels-project/>

世界の自動車市場、加速へ

自動車販売が急速に伸びている国の一つであるインドは、自動車のパラジウム需要も世界第5位だが、自動車販売の2023年の出だしは非常に好調で、1月の普通乗用車販売は34万台だった。これは前年比で22%の増加、コロナ禍以前の2020年1月との比較でも8%の増加で、世界第3位の日本に次ぐ。普通乗用車販売の今後の展望、すなわちパラジウム需要の展望はその他の国と比べても良好だ。新たな国家予算案で発表された廃車回収に対する補助金の上乗せと一般所得税の払い戻しのおかげで、新車への乗り換え需要が刺激され、可分所得の増加で、今年の新車販売の後押しとなるだろう。2023年の世界のパラジウム需要はマイナス1.7%、236.4トンとの予測の一方で、インドのパラジウム需要は6%伸びる予測。国際通貨基金の予測ではインドの経済成長は主要経済国のそれを上回り6.1%となっている。ちなみに米国の経済成長予測は1.4%、ドイツは0.1%。1月の自動車販売は米国と英国でも前年より増加した。

今週も再びパラジウム価格は軟調

パラジウム価格は週の半ばに1551ドル/オンスに下落し、投資家のネットショートポジションは6ヶ月ぶりの最高、620.2トンとなった。プラチナの対パラジウムディスカウントは先週、600ドル/オンスに縮まり、2019年9月以来の最低となった。不景気の到来予測を前に自動車触媒のパラジウム需要は減る可能性があり、パラジウム価格の下落傾向は続くかもしれない。

[https://www.heraeus.com/media/media/hpm/doc\\_hpm/precious\\_metal\\_update/en\\_6/Appraisal\\_20230213.pdf#msdyntrid=SCL011QmN-BbR7wtbRED40aFGzjTfTodPeZ-CI55dl](https://www.heraeus.com/media/media/hpm/doc_hpm/precious_metal_update/en_6/Appraisal_20230213.pdf#msdyntrid=SCL011QmN-BbR7wtbRED40aFGzjTfTodPeZ-CI55dl)

Translated by Osawa KAZUKO

WPIC直近の活動

- 仏エア・リキードとトタルエナジーズはジョイントベンチャーで、フランス、ベルギー、オランダ、ルクセンブルクの幹線道路を走る大型車用として、100箇所以上の水素補給ステーションを繋ぐネットワークを構築すると発表した。2022年末の時点で、37カ国で814の水素補給ステーションが稼働している。その大半となる455箇所がアジアにあり、日本に165箇所、韓国に149箇所、中国は138箇所(推測)となっている。モビリティの脱炭素化を進めるにあたって水素燃料の利点は明らかだが、ゼロエミッションの燃料電池自動車も普及させるためには、自動車メーカーと運輸業者にとって十分に発展した水素補給ステーション網が不可欠だ。詳しくはプラチナ豆知識(水素補給)をご覧ください。

<https://platinuminvestment.com/about/60-seconds-in-platinum>



(@wpicjapan)

免責事項: 本資料は情報提供に過ぎず、WPICの投資提案を意図するものではなく、また、そのように解釈されるべきでもありません。